

- 問1 邪馬台国の女王卑弥呼に関する記述として、最も適当なものはどれか。 (2016年 北海道公立入試 類似)
1. 摂政である聖徳太子とともに、冠位十二階や十七条の憲法を定めた。
 2. 魏に使いを送り、「親魏倭王」の称号や多数の銅鏡を授かった。
 3. 夫である天皇の死後、軍を率いて朝鮮半島へ出兵したという伝説がある。
 4. 日本で初めて本格的な都城である藤原京を造営し、国家体制を整えた。
- 問2 弥生時代に大陸から稲作が伝わり、食料を蓄えることが可能になったことで生じた社会の変化について、最も適切な説明を選んでください。 (2021年 神奈川県公立入試 類似)
1. 表面に縄目の文様がある、厚手で黒褐色の土器が全国的に作られるようになった。
 2. 政府から農民へ平等に土地が割り当てられ、収穫した稲を税として納める制度が整った。
 3. 土地や水の利用、蓄えた食料などをめぐって、ムラの間で争いが起こるようになった。
 4. ナウマン象などの大型動物を狩猟するために、人々は移動を繰り返しながら生活するようになった。
- 問3 弥生時代の社会状況を示す事例として、香川県にある紫雲上山遺跡のように、瀬戸内海を一望できる高い山の上に作られた「高地性集落」があります。卑弥呼が邪馬台国を治めていた時期を含め、このような特殊な場所に集落が作られた理由として、当時の社会背景を説明したものを選びなさい。 (2021年 香川県公立入試 類似)
1. 白村江の戦いで敗れた後、唐や新羅の侵攻に備えて防衛拠点としての城を築いたため。
 2. 遣隋使や遣唐使として派遣される人々を、高い場所から見送る儀式を行うため。
 3. 大陸から伝来した仏教を修行するための山岳寺院を建てる必要があったため。
 4. 稲作が普及する中で、土地や水をめぐる集落間の争いが激化し、防衛や監視に有利だったため。
- 問4 弥生時代に本格的に始まった稲作において、実った稲の穂先のみを摘み取って収穫するために使われた磨製石器を何というか。 (2016年 奈良県公立入試 類似)
1. 石包丁
 2. 石鏃
 3. 石匙
 4. 打製石斧
- 問5 弥生時代に本格的に始まった稲作において、収穫の際に用いられた石包丁の使用方法について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2017年 千葉県公立入試 類似)
1. 収穫した後の脱穀を行うために用いられた
 2. 稲を根元から刈り取るために用いられた
 3. 土を掘り返して苗を植えるために用いられた
 4. 稲の穂の部分をつまみ取るために用いられた
- 問6 紀元前後に位置する東アジアの歴史を記した年表において、1世紀半ばに日本の「倭」の中にあった「奴国」の王が、ある中国の王朝に使節を送り、その証として金印を授けられたという記述があります。この時、奴国の王が使節を送り、金印を授かった王朝の名称として正しいものを選択してください。 (2025年 愛媛県公立入試 類似)
1. 秦
 2. 魏
 3. 隋
 4. 漢 (後漢)
- 問7 弥生時代に作られた青銅器の一種で、釣鐘のような形をしており、表面に流水紋や当時の狩猟・農耕の様子が描かれていることがある、稲作の祭りなどに使われたとされる遺物を何というか名称を答えなさい。 (2020年 大分県公立入試 類似)
1. 勾玉
 2. 銅鏡
 3. 埴輪
 4. 銅鐸
- 問8 弥生時代の遺跡の復元資料において、茅 (かや) などの植物で葺かれた屋根が地面に接するほど低く設置され、地面を掘り下げて基礎としている住居が見られます。この住居と、同じ時代に稲などを保管するために作られた「高床倉庫」の構造上の最大の違いは何ですか。 (2018年 奈良県公立入試 類似)
1. 住居は瓦で屋根を葺いているが、倉庫は茅や草を用いて屋根を葺いている
 2. 住居は地面を掘り下げて床を作っているが、倉庫は柱によって床を高い位置に設けている
 3. 住居は木材を一切使わずに石だけで作られているが、倉庫は木材を中心に作られている
 4. 住居は円形のものしかないが、倉庫はすべて三角形の形をしている
- 問9 長崎県杵岐市の「原の辻遺跡」は、大規模な環濠集落を特徴とし、中国の歴史書に登場する「一支国 (いきこく)」の王都とされています。この一支国も含まれる当時の倭国の様子や、女王卑弥呼が中国へ使者を送った出来事について詳しく記されている書物はどれですか。 (2017年 長崎県公立入試 類似)
1. 『魏志』倭人伝
 2. 『宋書』倭国伝
 3. 『後漢書』東夷伝
 4. 『漢書』地理志
- 問10 1世紀の日本 (倭) において、奴国の王が中国の後漢へ使いを送り、皇帝から「漢委奴国王」と刻まれた金印を授かった政治的な目的として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 佐賀県公立入試 類似)
1. 仏教を日本に伝来させるための正式な許可を、中国の皇帝から得るため
 2. 遣隋使や遣唐使を派遣する前の準備として、航路の安全を中国側に確認するため
 3. 中国の律令制度を日本に導入し、天皇を中心とした中央集権国家を築くため
 4. 中国の皇帝から自国の支配者としての地位を認められ、周囲の小国に対して権威を高めるため
- 問11 弥生時代に朝鮮半島から稲作が伝来したことで、縄文時代とは異なる社会状況が生まれました。生産力の向上や定住生活に伴って発生した出来事について、適切に説明しているものはどれですか。 (2023年 茨城県公立入試 類似)
1. 狩猟や採集が中心の生活となり、人々は獲物を求めて常に移動し続けた。
 2. 仏教が伝来し、各地で大規模な寺院の建設が始まった。
 3. 冠位十二階が定められ、個人の才能や功績に応じて役職が与えられた。
 4. 収穫した稲の分配や土地の所有をめぐって、むら同士の争いが発生した。
- 問12 弥生時代に大陸から稲作が伝来して定住生活が広まると、集落 (ムラ) の間で大規模な争いが発生するようになりました。縄文時代の狩猟・採集中心の生活ではあまり見られなかったこのような対立が、弥生時代に激化した主な理由として適切なものはどれですか。 (2024年 北海道公立入試 類似)
1. 水田を耕作するための土地や、農業に欠かせない水の利権を確保しようとしたため
 2. 大陸から伝来した仏教の布教をめぐり、信仰の違いから衝突が起きたため
 3. 獲物を追って移動する範囲を広げる中で、獲物の所有権をめぐって対立したため
 4. 気候の寒冷化によって木の実などの食料が激減し、採集場所を奪い合ったため
- 問13 3世紀前半の倭 (日本) について記した中国の歴史書である「魏志倭人伝」には、多くの小国を従えた強力な勢力の存在が記されています。この勢力の名称と、周辺の小国を連合させて治めていたとされる女王の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2026年 大阪府公立入試 類似)
1. 邪馬台国 — 推古天皇
 2. 邪馬台国 — 卑弥呼
 3. 奴国 — 持統天皇
 4. 奴国 — 卑弥呼